明るく魅力ある学校づくりをめざして

＜平成２９年度 学校評価年間報告＞

愛知県立尾西高等学校
学校評価委員会

本年度の重点目標の達成を目指し、１年間さまざまな教育活動に取り組んでまいりました。中間報告に続き、年度末の総括として年間報告をお知らせします。この報告は、１２月に行った保護者・教員・生徒の三者によるアンケート調査の結果を元にしています。学校の変化に合わせて質問項目を見直しました。今後も教育活動の点検とよりよい学校作りに努めてまいります。ご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

☆本年度の指導の重点目標☆

自ら学び、自ら考える力など、「生きる力」の育成を基本とした、知・徳・体のバランスのとれた教育を展開し、健やかな体と豊かな人間性を備えた生徒の育成を目指す。

〈学習指導〉

・授業規律の徹底を図り、生徒が学習に真剣に取り組み、家庭学習につながるよう育てます。
（数値目標：家庭学習に取り組む生徒８０％以上）
・柔軟な発想と新たな企画・アイデアで、生徒に新たな発見とやる気が生まれる授業を展開します。
・少人数、習熟度別の授業を有効に機能させ、「わかる授業」を実現します。

☞　授業は学校生活の最も大切な要素です。今年度は授業改善のため、全生徒への授業アンケートの実施、職員による授業参観日の増加、を新たな取り組みとして実践しました。しかしながら、「授業の理解度」については、保護者、生徒からの肯定的な回答が１０％減少、「授業を受ける姿勢」については、保護者、教員、生徒全てにおいて、肯定的な回答が５％減少しました。６月に実施した授業アンケートでは生徒からは良好な回答が得られていましたので、授業内容が難しくなる年度後半の授業について、改善の方法を考えていきたいと思います。

今年度は家庭学習に取り組む生徒８０％以上という数値目標を掲げて実践しました。考査前１週間は日課表を付けさせ、学習の取り組みが目に見える形で記録をさせましたが、学習時間が１時間以内の生徒も含めると８０％弱が取り組みましたが、１ 時間以上では６０％弱となりました。考査に対する意識はまだまだ低い状態の生徒も少なくありません。ただ学習時間を増やすことを言うだけではなく、考査に対する意識を高めて、考査のためにやらなければいけないと思わせる指導の方法を考えていきたいと思います。

〈進路指導〉

・あらゆる機会を捉えて面接指導を実施し、１人１人の進路に応じたきめ細やかな指導を行います。
・学年、進路希望に応じた進学就職ガイダンスなどを通じて、進路意識の高揚を図ります。
・キャリア教育の一環として、ジュニアインターンシップの一層の充実を図ります。

☞　全体的に昨年のアンケートの結果と今年の結果を比較して、大きな変動はありませんでした。細かく見ていくと「５．情報がなくてわからない」の数字が昨年より微増しています。昨年と同様でありますが進路指導への取り組みについて、教員の評価は高いですが生徒や保護者の評価はそこまで高くありません。生徒や保護者にも進路の取り組みが理解されるように進路だよりやホームページの更新などで進路情報の提供ができていなかったのが反省点です。教員からももっと情報提供して欲しいという声もあったことが今後の課題です。

生徒の補習の取り組みに関しては中間評価の予習・復習をしてない５０％が年間の評価では３０％まで減っています。模試の分析をしたり、補習の授業改善をしたりしている取り組みの成果が少しずつでていると感じます。アンケートに小論文対策の実施が遅いなどの声もあったため、来年度は年間の計画に小論文対策を入れたいと思います。進学指導に対してこれからもっと力を入れていきます。

重点目標に挙げた就職指導についてはアンケートでは評価されませんでしたが、今年の１次募集の内定

率が９割を超えて、男子に関しては１００％の内定率であったことが取り組みとしての成果であったと感じています。キャリア教育の一環として、進学就職ガイダンスを行い、特に３年生に対して消費者教育や主権者教育など社会人としての素養を高める取り組みができました。２年生のインターンシップを昨年の３倍近くの生徒が経験することができました。

〈生徒指導〉

・家庭と連携して、生活習慣の確立を図り、身だしなみを整え、時間の守れる生徒を育てます。
（数値目標：年間遅刻指数４．０未満）
・あいさつの励行と適切な言葉遣い、マナー・モラルなどをわかりやすく指導し、社会性を育てます。
・適応指導の観点をもち、生徒を支え寄り添い、生徒と職員の豊かな人間関係を育みます。

☞　「身だしなみ指導・遅刻指導がきちんと行われていますか」の問いに対して８５％の生徒が「かなりそう思う」「少しそう思う」と答えています。また、「生活態度を正し、校則を守っていますか」の問いに対して８２％の生徒が「かなりそう思う」「少しそう思う」と答えています。２つの問いに関して「そう思う」が概ね同ポイントであることから、ほぼ同じ生徒が両問いに関して「そう思う」と答えているのでは無いかと考えています。

この結果から、１５～１８％（約６４～７７名）の生徒は「身だしなみ指導」「遅刻指導」「生活態度指導」に無関心で、自分の判断で高校生活を送っていると考えています。これを各学年の人数に置き換えると各学年２１～２６人､各クラス３～４人となります｡生徒の現状を客観的に見ても納得できる数値です。

今後は、生徒指導部・各学年・各担任が生徒状況を正確に把握して、指導が必要な生徒をピンポイントで継続的に指導していかなければならないと考えています。尾西高校生の「成長」と「飛躍」のために、全職員が共通理解のもとで、一致団結した指導体制を確立していきたいと思います。

〈生徒会活動〉

・部活動、生徒会活動、学校行事に積極的に参加させ、学校への帰属意識の向上を図ります。
・学校行事に積極的に参加させる仕掛け、ガイダンスを企画し自主性のかん養を図ります。

☞　生徒会行事に積極的に参加していると回答した生徒は 67%と多くの生徒が生徒会行事を重視している様子がうかがえます。また、特に積極的に参加した行事については、平均で 1.5 個の回答があり、様々な行事に積極的に参加している生徒がいる状況を反映していると考えます。積極的に参加している行事については、行事ごとの差は少なくどの行事にもまんべんなく力を発揮している傾向が見られます。

行事を通じての帰属意識の向上については、生徒で 59%、保護者から 66%のよい評価をいただいており、ある程度の効果がうかがえますが、生徒に関しては行事にしっかり参加しているのに対して、やや低い評価でありました。本校ならではの行事である部分をそれぞれの行事で意識できるように準備、当日の指導を工夫していきたいと考えています。

部活動に関しても運動部で 79%、文化部で 65%の生徒が積極的に参加していると回答しました。今後も積極的な取り組みを継続できるように指導継続していきたいと考えます。

〈ＰＴＡ活動〉

・ＰＴＡ活動や学校行事への積極的な参加を呼びかけ、学校の教育活動に対して理解・協力をいただけるよう努めます。
・地域に根ざした学校を目指し、情報を発信し、ＰＴＡ活動を通して生徒・職員・家庭・地域の交流を深めるよう努めます。

☞　ＰＴＡ役員を中心に総会、理事会（年３回）を実施しました。今年度から理事会を総会に兼ねることで１回減らしました。また、理事会において、『魅力ある学校作りを目指して』を議題に意見交換を行いました。今後も、ＰＴＡとして魅力ある学校作りに積極的に取り組んでいきます。理事会後には、役員と理事との良い情報交換の場ができています。

学校行事については、各委員会を中心に清掃ボランティア、文化祭の食品バザーや闊歩大会など多くの保護者の方に協力いただき充実した活動ができています。ＰＴＡ行事の文化教室や研修旅行も参加者は少ないですが、充実した活動が行えています。

今後の活動も学校配信メールやホームページを利用して、活動内容等をお伝えしていきたいと思います。

ＰＴＡ広報誌『廣表(こうぼう)』は、朝日連区、祖父江第１区、祖父江第１区２の方の協力を得て回覧していただくことで、本校の教育活動内容等を地域の皆さんに継続してお知らせしています。

〈学校保健活動〉

・家庭と連携して欠食や偏食を減らし、健康維持・増進の心構えを生徒に身に付けさせます。
・生徒の心の健康に関して、保健相談部を中心に家庭・医療機関と連携し、迅速かつ的確な対応を心掛けます。
・校内外の環境美化や施設設備の安全点検を意識し、学習環境の整備に努めます。
・いじめの防止と良好な人間関係の構築に向けて、年に２回教育相談アンケートを実施し、その結果に基づき適切な指導を図る。

☞　年間を通じて保健室の利用件数が H27 年度以降減少傾向にあります。健康管理に気をつけていると思う生徒が７３％と高く、自らが検診結果に対して関心を示し、健康管理をしているのだろうと推測します。また、今年度から各教室にエアコンが設置されたことは、夏場の体調不良者減少に結びついていると考えます。本校では「保健だより」を定期的に発行し、健康への意識を喚起するよう努めています。保健室の利用者が減少傾向とはいえ、まだまだ満足いくものではありません。体調不良の要因として「朝食欠食」「睡眠不足」などがあります。保健室利用減少のために、今一度自分自身の生活習慣を見直してみる必要があると考えます。

清掃活動やごみの分別については約７割の生徒が肯定的な回答をしていますが、4 人に 1 人は不十分であると答えています。昨年度と比較して、肯定的な割合が減少しており心配です。ゴミの分別・減量については、１人１人の意識と行動が必要不可欠です。学校においては、ゴミの分別・持ち帰りについてクラスや学年、全校レベルで継続的に伝え、個々の意識改革を図っていきたいと考えています。ご家庭でも環境美化について、できることからルール作りをしていただきたいと思います。

教育相談に関しては、半数以上の生徒が相談しやすい環境にあると答えています。スクールカウンセリングについては、担任からの紹介等で利用する生徒も増えています。「カウンセリング」と聞いて敷居を高くすることなく利用して欲しいと考えています。スクールカウンセリングに限らず、教員への相談も含めて、話しやすい環境づくりを考えていきたいと思います。

〈図書館活動〉

・「朝の読書」と連携し、読書習慣を身に付けさせ、情操豊かな生徒を育てます。

☞　「朝の読書」については、一昨年度・昨年度と同様、約 80 パーセントの生徒が積極的に参加しており、比較的落ち着いて取り組めていると考えます。今年度は冬に学級文庫の補充を行いました。これからも生徒の希望する書籍を確保して、朝読を支援していきたいと思っています。

一方、図書館を利用することがあるという生徒は 16 パーセントでした。この半年間に「朝の読書」以外で本を１冊も読まなかったという生徒も 34 パーセントに上っています。半年間に 5 冊以上読むという生徒も 21 パーセントいますが、図書館に足を運び、本を借りるのは少数です。今年度は新着図書の案内を見て、本を借りに来る生徒もいました。図書館内の学習スペースは、考査期間中や夏休みの開館日にも利用できます。引き続き図書の充実を図り、新着図書の案内など広報を活発にして、生徒に図書館の利用を呼びかけていきたいと思います。

〈安全教育〉

・防災に関する知識・技能を理解・習得させ、自他の命を大切にする姿勢や態度の育成を目指します。

☞　本年度も災害時備蓄食料の備えなど不測の事態に対応できるように準備を行いました。１学期（５月）には、地元の消防署と連携し、大規模地震の発生による火災を想定した防災避難訓練を実施しました。また、昨年度より愛知県主催の防災教育推進事業セミナーに参加している生徒による、文化祭での防災アンケートの発表や防災新聞発行など生徒の防災に対する意識を高めるための様々な活動を行いました。